

# AWAGA/Shikkui-DX



古来より建築で使用されている漆喰(しっくい)を使い、音の良さを実現  
キャビネットは合板の積層面の美しさを活かし、  
ミッドセンチュリーを意識したデザイン  
取付/取り外し自由な脚により、縦置き/横置きのいずれも可能



## フロントロードホーンに漆喰を採用

ヨーロッパの教会や公民館には、壁に漆喰を使用しているために音響の良い建物が多く見られます。  
漆喰は、比較的高い周波数(2kHz程度)の音の吸収率が高く、乱反射が柔らかいことに特徴があります。  
AWAGA/Shikkui-DXは、フロントロードホーン材料として漆喰を採用、  
力強い高域、明瞭な音色、従来とは異なる次元の音の透明感を得ることに成功。  
音の分離が良く、各楽器の微妙な音色を描き分け、リアルに再現します。  
ユニットは高性能かつフロントロードホーンに適したフルレンジユニットを選定、  
キャビネットは漆喰のイメージに沿って、曲線を盛り込みレトロ感漂うイメージをデザイン。  
縦置き/横置き、シチュエーションに合った設置で、豊かな音をお楽しみください。

曲面の柔らかさを持つ、  
美しい積層面。



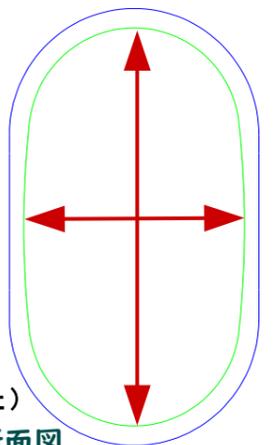
取付/取り外し可能な脚。  
置き場所に合わせて  
縦置き/横置きを選択出来る

脚の着脱は  
工具不要



キャビネット外部(—)は  
レーストラック状だが

内部(—)は側面全てが  
曲面のみで形成  
(平行面はこの2箇所のみ)  
⇒ 定在波が発生しにくい



(正面から見た)  
キャビネット断面図



## シンプルな内部制振構造

弊社独自の  
シンプルな制振構造により  
バスレフの共振を抑制、  
曲面で構成された  
キャビネット形状と相まって、  
内部定在波も  
立ちにくくなっております。  
この構造により  
吸音材を最小限とし、  
抜けの良い明瞭な低音を  
実現しています。

フロントロードホーン。  
古民家ライブスペース(弊社運営)  
にて知り合ったミュージシャンの  
話が、漆喰採用のきっかけとなる

横置きの状態。

漆喰/フロントロードホーンを活かす  
レトロ感漂うキャビネットデザイン



## 手作業による仕上げ

キャビネットの構成部品は  
レーザー加工により  
正確に切り出されており、  
安定した品質を  
確保しております。  
一方で、仕上げは  
手作業で行っており、  
レトロな外観に  
温かみを加えています。  
漆喰は手作業以外では  
塗りが困難であり、  
ハンドクラフトだからこそ  
製作可能なスピーカーです。

「AWAGA/Shikkui-DX」のロゴ入り。  
会社所在地(朝来市)の地名  
“粟鹿(Awaga)”の名を冠する製品を  
基幹シリーズとして展開している



背面はシンプルなスタイル。  
定格銘板はアクリル製

それぞれの  
楽器・ボーカルが  
それぞれ  
きれいに分離して  
耳に届く  
それは限りなく  
ライブに近い感覚...



感動の音色を、AWAGA/Shikkui-DXで。